令和 8 年 9 月 17 日開催　和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者　　大槻教育長、深堀職務代理者、酉家委員、小谷委員、木村委員、網代委員

教育委員会事務局　　鍛治教育次長、山村部長、上田教育指導監、奥次長、永井室長、森下次長、藤井室長、田嶋課長、隅埜課長、橋本課長、藤木課長、辻川主幹、太田垣主幹

	議題	要旨
案件１	学校施設等における照明の一括 LED 化事業について	1. 背景・目的 〇令和 9 年 12 月末で蛍光灯の製造及び輸出入が終了。 〇本市の公共施設では、多くの施設が現在も蛍光灯を使用しており、在庫減少の懸念に加えて物価高騰による電気料金の上昇に鑑み、早期の LED 化の検討が必要。 ⇒市全体で公共施設照明の LED 化に向けた検討を行うもの 2. 対象施設及び灯数について 施設規模や立地等を勘案し、小中学校、留守家庭児童会のプレハブ棟、学校運動場の夜間照明、保育園及びこども園において、一括で LED 化改修を行う方向性で検討。(約 19,000 灯の照明が LED 化対象) 3. LED 化手法について ①従来手法（設計及び工事の分割発注)、②リース、③ESCO 事業から手法を検討。 ※ESCO 事業 民間ノウハウを活用し、施設の設備改修及び維持管理を行う手法。市は、設備改修と数年間の維持管理を ESCO 事業者に委託し、設備改修による省エネルギー効果(光熱水費の削減)をうける。 4. 検討の方向性 3 つの手法を(1)事業費、(2)財源、(3)事業期間、(4)市内企業活用、(5)その他の 5 つの観点で比較。 ⇒財源も含めた事業費や事業期間の観点では、「③ESCO 事業」が最も利点があるものの、市内企業活用の観点で課題があり、市内企業活用の観点では「①従来手法」が最も適している ⇒各観点における比較結果をもとに LED 化手法を検討(詳細な事業費は現在積算中) 5. 今後のスケジュール 【令和 8 年度】・市全体の公共施設における LED 化手法等の決定（10 月予定） ・教育委員会第 11 回定例会（報告事項） ・市議会第 4 回定例会厚生文教委員会協議会（報告） 【令和 9 年度】事業者の選定、現場調査 【令和 10 年度】LED 化改修の実施 【令和 11 年度以降】委託業者による維持管理 ●委員の意見 ・LED 化改修にかかる期間と概算費用を教えてほしい。

		また、ESCO 事業において導入年度の翌年以降にかかる費用についても説明してほしい。 →改修にかかる工事期間は約 1 年。費用は概算で 7 億円程度を見込んでいる。工事費は導入年度に一括で支払い、その後数年間、維持管理費として年間 300 万円程度を支払う想定。 ・ESCO 事業により LED 化改修を行う場合、市内事業者にも携わってもらうことは可能か →市内事業者にヒアリングしたところ、事業規模が大きいことを懸念していたため、下請けとして携わってもらうことを検討。
案件２	教育振興基本計画（基本方針編）の改訂について	1.教育振興基本計画（基本方針編）改訂の基本的な考え方 〇教育大綱の改訂を踏まえた修正を行う。 〇国の教育振興基本計画の改訂（令和 5 年 6 月）や社会情勢の変化、新たな課題を踏まえ、取組の追加、削除、文言修正を行う。 〇機構改革に伴い、保育園・幼稚園等の「就学前教育」については市長部局での進行管理に委ねる。 〇教育振興基本計画の現行の構成「目標 － 取組方針 － 主な取組イメージ」を引き継ぐ。 2.見直しの視点 (1)機構改革を踏まえ、こども未来室に係る就学前教育の取組を市長部局に移管 →就学前教育のうち、保育園等と小学校・義務教育学校との連携については「学校教育」に位置付け (2)教育大綱の改訂内容を踏まえた修正 「個別最適・協働的な学び」や「探究する力」などの文言を取組方針や目標に反映 (3)社会情勢の変化や新たな課題への対応に係るキーワードを反映 3.改訂スケジュール 【10 月】改訂案についての意見交換　※非公開 【11 月】改訂案に関する審議 【12 月】市議会第 4 回定例会厚生文教委員会協議会報告 パブリックコメント 【3 月】 改訂案の確定 ●委員の意見 ・「教育データを活用したダッシュボードの構築」が専門用語を用いてわかりにくいので、表現を検討してほしい。 →教育と福祉それぞれのデータを連携し、より円滑な児童生徒の情報把握をめざしている。表現について検討する。 ・「子どもの興味・関心等に応じた授業」は、表現に違和感を感じる。「引き出す」などのほうが良いのではないか。 →現在は国の教育振興基本計画に合わせた表現にしているが、検討する。 ・生涯学習分野において「ICT の活用」だけではなく、活用す

		るために必要な「デジタル教育」についても記載してほしい。 ・「すべての人が生涯にわたりいつでも自由に学ぶことができる環境整備」に関して、リスキリングの観点を含めたほうが良いのではないか。 →リスキリングは企業が主体で取り組むべきもので、市が推進する「生涯学習」はより大きな概念であるため、所管から外れると考えている。 ・学校教育分野において「地域における多様な主体と連携・協働し、地域とともに歩む学校づくりを推進」という記載があるが「多様な主体」がわかりにくいので、工夫してほしい。また「家庭」というキーワードは必要だと思う。 →検討する。
案件３	学校力向上伴走支援の状況報告について	学力向上伴走支援について対象校の学校長から状況報告 ●委員の意見 ・児童生徒と教職員、どちらにとっても非常に良い取り組みだと思う。短期間では成果が現れにくいと思うので、ぜひ長期的に続けてほしい。 ・教職員が相談できる環境が整ってきており、素晴らしいと思う。児童生徒に加えて、教職員の自己肯定感の向上についても期待したい。